

2025年5月1日
現勢2,622名
前月比 +17名
2,652名(1/1付)



発行所
東京土建一般労働組合
小平東村山支部
小平市仲町381番地
電話 042-342-2846
FAX 042-342-2848
発行人 染矢 憲広

伝える10分間群会議の 全群挑戦へ



参加者で団結してガンバロー

第9回定期大会

4月20日(日)に小平福祉会館にて、第9回定期大会が執り行われました。大会には、代議員・特別代議員合わせて78名が参加し、来賓として東京土建本部常任中執・小坂様をはじめ、12名が参加しました。「伝える群会議を全群で挑戦し、仲間の力を引き出して2750人支部へ」というメインスローガンのもと、組合の発展を目指すことを確認しました。

【役員体制は2面へ】

今大会の担当役員は谷口副委員長、準備委員長は染矢常任が務めました。また、議長には、一ツ橋分会牧田書記長と野火止分会の千葉分会長が選出されました。全体会では、井上委員長、来賓の方々の挨拶をいただいたあと、基調報告と決算・予算の討議が行われました。重点課題

分科会

大会の午後の部では、各会・専門部を5つに分け、分科会を実施し、活発な討議を行いました。ここでは、特徴的な意見・発言を紹介し、今年度の執行委員会で議論を重ねていきます。

◇第一分科会(仕事・技術・財政)
・4号特例への対応は大丈夫なのか。
・電気工事の資格講習を増やしてほしい。
・支部から分会へ財政支援を。

◇第二分科会(組織・後継者・主婦)
・事業所退職後の脱退防止対策
・10分間群会議の成果報告
・分会と後継者対策部の連携が今後の課題となってくる。
・主婦の会の名称変更について

◇第三分科会(賃金・税金・教宣)
・担い手3法の学習会の開催は分会毎にやるのか。
・インボイスに関する署名を書こう。
・チャットGPTの活用。

◇第四分科会(厚文・青年・学習化)
・青年部へのサポートは欠かせない。
・学習は重要だが、動画など、イメージしやすい学習形式を検討してほしい。

◇第五分科会(労働・社保・けやき)
・従前の保険証で十分。
・場所によっては、駅宣でティッシュを受け取ってもらえない。
・けやきの会には、多々動いてもらっているが負担はないか。

→分科会の様子



となつて「10分間群会議」は、2024年度から全分会で導入し、着実に成果を上げたことができました。2025年度は、「10分間群会議」を全群で挑戦し、組合運動にさらなる勢いをつけ、仲間伝える運動をしていくことを提案し、確認しました。

大会の終盤では、本部及び分会から選出された組合員の表彰、新役員の選出が行われ、「建設業の倒産は過去10年で最多と



表彰者の方々

なり、人手不足による工期遅延など、負の連鎖が続いている。また、インボイスや保険証物価高に賃金が追い付かず家計は厳しさが増す一方。さらに、マイナ保険証により、土建国保継続が危ぶまれている。他方で、『第3次担い手3法』を勝ち取り、賃金・単価の引き上げの土台作りに成功した。仲間の生活と仕事を支える運動の前進のために、全分会・群で団結して奮闘しよう」という大会決議案が全会一致の拍手で採択されました。最後は、参加者全員の団結ガンバローで、第9回定期大会は終了しました。

用水路

大阪関西万博に向けて、三波春夫が「こんにちは、こんにちはは世界の人が、こんにちはは、こんにちはは世界の国から」と歌っていた1970年、私は見に行きました。大変な込み具合で会場に着いてもテーマパークの中に、1時間待ちとか2時間待ちでした。空いているスペースに入っで見学をしました。が、あれから55年経ちました。あの頃は景気が良い時代でした。2年間で給料が約10%上昇し、10年で倍になったことを今でも覚えています▼当時の私は東京土建多摩西部支部青年部に入り、部長を務めました。メンバーなどの動員も楽しくスピーカーも全開で「沖繩を返せ」とか労働歌を歌っていました。そのつながりで教員組合の人とも仲良くなりました▼これから何をやるのか、何をどう変えようかと考えていました。そういった時代を今の若者に伝えたいと思います▼衣・食・住の住を担う私たちがいないと住めないのです。そのために若者に伝えて、職人を育てたいと思います。自分のために、仲間のために組合活動を大切にしましょう。【小川・竹野】

